宮城野障害者福祉センター

「上級救命講習」を開催しました

令和元年５月１３日（月）
仙台市宮城野障害者福祉センター

令和元年５月 13 日（月）に、仙台市防災安全協会救急サポートセンター指導のもと、上級救命講習を受講致しました。

上級救命講習は毎年継続受講しており、今年度も初受講の職員を含め、同居する他法人職員（社会福祉法人手をつなぐ育成会）にも参加いただき２０名が受講致しました。

仙台市の現状として、現在市内には 26 台の救急車があり、救急車の平均到着時間は約８分とのことでした。心肺停止後、何もしなければ時間を追うごとに助かる確率は低下すると言われており、現場に居合わせたバイスタンダーの役割がとても重要であるということを再確認する機会となりました。

救命措置の流れの確認から、ＡＥＤ操作を含めた心肺蘇生法や止血法など、救命に係る知識や技術の向上に努める中で、有事に備えた救命処置技能を有しておくことの重要性を改めて実感しました。

今後も、上級救命講習の継続受講を継続し、安心、安全な施設運営とサービス提供に努めていきたいと思います。